

J A R L 全国区域の理事候補

# JH3GXF

安孫子 達 (あびこ さとし) 64歳



ARRL100 anniversary at W1AW

## 略歴

1970年 電話級アマチュア無線技士  
1972年 電信級アマチュア無線技士  
1975年 第2級アマチュア無線技士  
1994年 兵庫県支部役員  
1995年 阪神淡路大震災でボランティア活動  
1996年 兵庫県支部長 3期6年  
1997年 KANHAM 立上げに参画  
1999年 第1級アマチュア無線技士  
2000年 固定局を1KWに変更  
2002年 デジタル通信 I/F を CQ 紙に発表  
2006年 JARL.COM の立上げに参画  
QSO bank の立ち上げに参画  
2007年 JARL 評議員 3期6年  
2010年 JARL 臨時総会議長団  
2012年 JARL 池田総会議長団  
2012年 JARL 社員  
2014年 JARL 全国区域の理事 3期  
現在に至る

阪神淡路大震災でのボランティア活動をきっかけに大好きなアマチュア無線の社会的ステータスの向上が必要と感じ今まで活動して参りました。しかし、今の JARL には、その頃の魅力が全くない組織になってしまいました。こんな組織にしたのはいったい誰なのでしょう！私が 5 年前に議案として出した電子 QSL も見せかけだけの委員会を作るだけで実際は全くやる気が無いのです。もっと早く立ち上げていれば信書問題で財政の悪化を招くことも無かったと考えています。私は電子 QSL で新しい無線の楽しみ方が創造出来ると思っています。また、KANHAM (関西アマチュア無線フェスティバル) の立ち上げに関わったときに感じた行政との信頼関係の重要さ、仲間との連帯感の大切さを JARL 事業に生かしてゆきたいと考えています。付け焼き刃の会員増強キャンペーンでは会員は増えません。会員自身がアマチュア無線をやった良かったと思えるようになれば自然と仲間は増えてゆくものだと思います。アマチュア無線の未来のために、JARL も変革が必要です。

- 1) 青少年が入りやすい青少年会員などの会員制度を見直すこと。
- 2) 電子 QSL とインターネットによる会員サービスの構築による財政の健全化。
- 3) 免許制度の簡素化や周波数の拡張などを推進。

JARL はアマチュア無線の権益を守るための団体です。JARL を本来の姿に戻すのは、会員の皆様の投票の積み重ねです。会員の皆様が JARL の運営に関心を持っていただくことが今後の JARL の発展につながります。

**あなたの一票でJARLが変わります。  
ご支援よろしく願い申し上げます。**